

スマートフォンで利用できる多言語音声翻訳技術の研究開発について

- 総務省所管の国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)を中心に、「言葉の壁」を越えたコミュニケーションの実現を目指した「多言語音声翻訳システム」を開発。現在は無料のスマートフォンアプリVoiceTraとして試験利用が拡大、民間企業の製品・サービス化が進行中。

現在

スマートフォンアプリ VoiceTra

- ✓ 一部テキスト入出力のみを含めて31言語に対応
- ✓ 日英中韓を含め10言語の旅行会話で実用レベル(英語はTOEIC600点レベル)の翻訳が可能
(音声認識、翻訳に人工知能を活用)



性能向上に向けた取組

- ✓ 医療など、旅行会話以外の翻訳を可能にする
- ✓ 実用レベルで翻訳可能な言語数を拡大する
- ✓ 多様な言い回しへの対応や、雑音除去、自動学習等の研究開発



ダウンロード用
QRコード
VoiceTraサポートページ:
<http://voicetra.nict.go.jp/>

空港



NARITA AIRPORT Translator
成田空港専用翻訳アプリ「NariTra」
(NICTが技術移転)

(写真: 成田空港(株)より提供)

鉄道



京急電鉄は乗換や遺失物等の案内に試験活用

(写真: 京浜急行電鉄(株)より提供)



東京メトロは同社管理の全170駅に導入

(写真: 東京地下鉄(株)より提供)

警察



岡山県警が、地理案内、遺失物申請等に活用

(写真: 山陽新聞報道)

スポーツイベント



東京マラソン2015、2016で救護所やボランティアが活用

©一般財団法人 東京マラソン財団

2020年

研究開発と大規模実証を経て、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに社会実装
→ 全国展開

ショッピング

ハンズフリーでの対応



鉄道



案内業務

医療



病院での診療

観光



街中での案内(ボランティアなど)のサポート

タクシー



車載ディスプレイで会話サポート

■多言語コールセンター

▽タブレット端末(後部座席)